

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 フレンドリー

コード番号 8209 URL <http://www.friendly-co.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重里育孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中井豊人

TEL 072-874-2747

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	9,483	△15.6	△301	—	△292	—	△1,668	—
21年3月期第3四半期	11,241	—	△74	—	△67	—	△429	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△114.11	—
21年3月期第3四半期	△29.37	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	8,866	5,231	59.0	357.73
21年3月期	10,513	6,908	65.7	472.38

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 5,231百万円 21年3月期 6,908百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,230	△15.5	△560	—	△530	—	△1,920	—	△131.29

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

【注】詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。】

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

【注】詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。】

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 14,645,584株 21年3月期 14,645,584株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 22,184株 21年3月期 20,985株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第3四半期 14,624,020株 21年3月期第3四半期 14,625,959株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「定性的情報・財務諸表等」3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、一昨年来の世界的な金融危機により、大幅に悪化した景気は下げ止まりつつあるものの、円高の進行による企業業績の落ち込みや厳しさを増す雇用・所得環境を背景に依然として厳しい状況で推移いたしました。当外食業界におきましても、消費者の生活防衛意識の高まりによる外食支出の抑制傾向は鮮明になり、外食企業間・中食業界との低価格競争の激化、消費者の内食回帰等により、経営環境は極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、収益力の回復を最優先に、①各業態の店舗オペレーション見直しによる運営コストの低減、②本部管理業務の効率化による人員の削減、③店舗賃借料・営業雑品・水光熱費を始めとするあらゆる経費削減を目的とするプロジェクト活動、④食材や商品構成の見直しによる原価の改善と適正な粗利益の確保等、無駄の排除とロスのコントロールに徹底して取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間における経営成績は次のとおりであります。

店舗展開につきましては、新業態のセルフ方式「釜揚げ讃岐うどん 香の川製麺」を9月に1店舗出店（既存業態のボンズから転換）いたしました。さらに10月に新業態として都市型低価格居酒屋「新・酒場 なじみ野」を1店舗出店し（既存業態の土筆んぼうから転換）、実験を開始いたしました。まだ数ヶ月ですが、いずれも御好評を頂いております。「香の川製麺」は今後多店舗展開を図ってまいります。また、「和み料理と味わいの酒 土筆んぼう」の出店・閉店を1店舗ずつ、「団欒れすとらん ボンズ」（平成22年1月に「釜揚げ讃岐うどん 香の川製麺」に業態転換予定）、「しゃぶしゃぶ・鍋 季節の和膳 竹〇屋」を各1店舗閉店いたしましたので、当第3四半期会計期間末の店舗数は前事業年度末比2店舗減少し、122店舗（前年同期比2店舗の減少）となりました。

業態別には、「おいしい・たのしい・こころいい」をコンセプトとする洋食の「ファミリーレストラン フレンドリー」47店舗、一本仕入の本マグロが好評の「産直鮮魚と寿司・炉端 源べい」38店舗、「日本の原風景“里山”」をコンセプトとする居酒屋「和み料理と味わいの酒 土筆んぼう」17店舗、「和・洋・中の料理と団欒」をコンセプトとする「団欒れすとらん ボンズ」17店舗、「健康応援バイキング」のレストラン「ダイニング・ビュッフェ い〜とみ〜と」1店舗、「釜揚げ讃岐うどん 香の川製麺」1店舗、「新・酒場 なじみ野」1店舗となっております。なお、「しゃぶしゃぶ・鍋 季節の和膳 竹〇屋」は、9月に事業から撤退いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は9,483百万円（前年同期比1,758百万円の減少）、営業損失は301百万円（前年同期比226百万円の増加）、経常損失は292百万円（前年同期比225百万円の増加）となりました。最近の経営環境の悪化を踏まえ、不採算店舗の思い切った閉店と「香の川製麺」への業態転換を決定した事により、店舗閉鎖損失引当金繰入220百万円、減損損失1,122百万円等、特別損失を1,350百万円計上し、四半期純損失は1,668百万円（前年同期比1,239百万円の増加）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、8,866百万円で前事業年度末比1,647百万円の減少となりました。主な要因は、固定資産の減損や借入金の返済等による手許流動性の取崩しによるものです。負債合計は借入金の減少等に対し店舗閉鎖損失引当金の計上等により前事業年度末比29百万円増加し、3,634百万円となりました。純資産は四半期純損失等により前事業年度末比1,677百万円減少し、5,231百万円となりました。この結果、当第3四半期会計期間末の自己資本比率は、前事業年度末比6.7ポイント低下して59.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末比718百万円減少し、2,163百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収支は、減損損失1,122百万円、減価償却費205百万円等の増加要因に対し、税引前四半期純損失1,640百万円等の減少要因により297百万円の減少（前年同期比266百万円の減少）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の収支は、差入保証金の回収による収入68百万円等の増加要因に対し、有形固定資産の取得140百万円等の減少要因により91百万円の減少（前年同期比63百万円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の収支は、長期借入による収入100百万円に対し、長期借入金の返済による支出413百万円等により330百万円の減少（前年同期比0百万円の増加）となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、個人消費マインドの回復への足取りは重いものと考えられ、経営環境は引続き厳しいものと予想しております。対処すべき課題の徹底に全力を投入し、売上高・利益の確保に努めてまいります。なお、詳細につきましては、平成22年2月5日付「業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,163,465	2,882,443
売掛金	76,594	74,315
商品及び製品	26,087	20,571
原材料及び貯蔵品	152,959	89,612
前払費用	136,332	90,530
その他	30,498	13,216
貸倒引当金	△90	△90
流動資産合計	2,585,847	3,170,601
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,147,263	2,027,160
土地	2,314,619	2,314,619
その他(純額)	308,961	350,957
有形固定資産合計	3,770,844	4,692,737
無形固定資産		
投資その他の資産	54,900	46,546
投資有価証券	102,068	115,623
差入保証金	2,116,583	2,227,765
その他	240,055	329,526
貸倒引当金	△4,230	△69,000
投資その他の資産合計	2,454,477	2,603,915
固定資産合計	6,280,222	7,343,200
資産合計	8,866,070	10,513,801
負債の部		
流動負債		
買掛金	396,400	337,245
1年内償還予定の社債	600,000	—
1年内返済予定の長期借入金	452,000	510,000
未払金	511,948	581,670
未払法人税等	36,396	59,443
店舗閉鎖損失引当金	198,742	5,100
その他	133,472	73,357
流動負債合計	2,328,960	1,566,817
固定負債		
社債	—	600,000
長期借入金	725,000	980,000
繰延税金負債	9,284	14,801
再評価に係る繰延税金負債	210,927	210,927
その他	360,716	232,939
固定負債合計	1,305,928	2,038,667
負債合計	3,634,889	3,605,485

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,975,062	3,975,062
資本剰余金	3,058,146	3,058,146
利益剰余金	△884,957	783,769
自己株式	△10,965	△10,596
株主資本合計	6,137,285	7,806,381
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,860	32,898
土地再評価差額金	△930,964	△930,964
評価・換算差額等合計	△906,104	△898,066
純資産合計	5,231,181	6,908,315
負債純資産合計	8,866,070	10,513,801

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	11,241,807	9,483,084
売上原価	3,604,539	2,908,985
売上総利益	7,637,268	6,574,099
販売費及び一般管理費	7,711,947	6,875,212
営業損失(△)	△74,679	△301,113
営業外収益		
受取利息	5,736	4,935
受取配当金	1,956	1,645
受取家賃	87,131	80,804
設備賃貸料	28,968	29,989
その他	12,960	10,143
営業外収益合計	136,752	127,517
営業外費用		
支払利息	20,442	24,949
賃貸費用	74,105	69,526
設備賃貸費用	28,348	19,306
その他	6,308	5,565
営業外費用合計	129,204	119,347
経常損失(△)	△67,131	△292,943
特別利益		
固定資産売却益	1,238	—
賃貸契約違約金収入	10,000	—
その他	177	3,000
特別利益合計	11,416	3,000
特別損失		
固定資産除却損	51,367	8,002
減損損失	148,439	1,122,304
貸倒引当金繰入額	69,000	—
前期損益修正損	13,852	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	220,658
その他	5,794	—
特別損失合計	288,454	1,350,966
税引前四半期純損失(△)	△344,169	△1,640,910
法人税、住民税及び事業税	28,050	27,817
法人税等調整額	57,344	—
法人税等合計	85,395	27,817
四半期純損失(△)	△429,564	△1,668,727

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△344,169	△1,640,910
減価償却費	302,439	205,079
減損損失	148,439	1,122,304
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△9,780	193,642
貸倒引当金の増減額(△は減少)	68,920	4,230
受取利息及び受取配当金	△7,692	△6,580
支払利息	20,442	24,949
有形固定資産除売却損益(△は益)	50,128	8,002
その他の損益(△は益)	△5,037	△29,538
売上債権の増減額(△は増加)	△239	△2,278
たな卸資産の増減額(△は増加)	△58,478	△68,863
仕入債務の増減額(△は減少)	27,786	59,155
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,645	△10,372
その他の資産の増減額(△は増加)	△5,054	10,685
その他の負債の増減額(△は減少)	△50,078	△132,569
小計	140,273	△263,062
利息及び配当金の受取額	2,771	2,177
その他の収入	137,443	123,937
利息の支払額	△17,733	△24,856
その他の支出	△233,457	△99,435
法人税等の支払額	△61,482	△37,308
法人税等の還付額	1,044	1,023
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31,141	△297,524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△177,334	△140,778
有形固定資産の売却による収入	1,238	—
貸付金の回収による収入	1,234	1,297
差入保証金の差入による支出	△5,000	△8,554
差入保証金の回収による収入	154,052	68,396
その他の支出	△1,779	△11,762
その他の収入	97	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,491	△91,401
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△330,000	△413,000
自己株式の取得による支出	△479	△368
リース債務の返済による支出	—	△16,410
配当金の支払額	△118	△272
財務活動によるキャッシュ・フロー	△330,598	△330,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△389,231	△718,978
現金及び現金同等物の期首残高	2,820,944	2,882,443
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,431,713	2,163,465

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 部門別売上高

(単位:千円)

期 間 部 門	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)
ファミリーレストラン フレンドリー	3,432,407	36.2	3,990,742	35.5
産直鮮魚と寿司・炉端 源べい	3,219,814	34.0	3,613,345	32.2
和み料理と味わいの酒 土筆んぼう	1,461,264	15.4	1,735,802	15.4
団欒れすとらん ボンズ	1,227,711	12.9	1,651,819	14.7
ダイニング・ビュッフェ い〜とみ〜と	60,440	0.6	88,578	0.8
釜揚げ讃岐うどん 香の川製麺	38,012	0.4	—	—
しゃぶしゃぶ・鍋 季節の和膳 竹〇屋	24,321	0.3	137,054	1.2
新・酒場 なじみ野	19,113	0.2	—	—
ギンガムキッチン	—	—	24,464	0.2
合計	9,483,084	100.0	11,241,807	100.0

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。